

科目名称 (Course Title)				担当教員(Instructor)	
皮膚筋骨格・中毒学				岡本 悦司	
開講学期 (Semester)	単位数 (Credits)	履修年次 (Requirement)	授業形態 (Class Type)	受講定員の有無 (Maximum Enrollment)	授業公開 (Workshop Class)
後学期	2 単位	2 年次	講義	無	非公開
授業の概要 (Course Description)					
<p>臨床科では、皮膚科及び整形外科分野の疾患を扱う。  皮膚疾患については、テキストに画像が乏しいことから、講義では多様な皮膚疾患の写真を提示しながら講義する。皮膚病変というアナログ[画像]情報を医学用語で的確に表現する単語力が求められる。  筋骨格系疾患では、膠原病ならびに骨、脊柱疾患について加齢と関連させつつ講義する。  他科目と同様、毎回終了時に小テスト(持ち込み不可)を行う。</p>					
授業の到達目標 (Course Objectives)					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な皮膚病変[発疹]を的確に医学用語で表現できる</li> <li>・全身疾患である膠原病の皮膚症状を記述できる</li> <li>・中毒の原因となる物質, 発生しやすい環境そして防止法を説明できる</li> <li>・関連に伴う骨, 脊柱の変化と定型的な疾患を列挙できる</li> </ul>					
授業計画 (Course Schedule)					
第 1 回	皮膚および皮下組織疾患の主症状、診断、治療法				
第 2 回	皮膚および皮下組織の感染症、水泡症、皮膚炎、湿疹				
第 3 回	丘疹落屑性障害、蕁麻疹および紅斑、皮膚付属器の障害				
第 4 回	皮膚および皮下組織のその他の障害				
第 5 回	悪性黒色腫、皮膚その他の悪性新生物				
第 6 回	関節障害				
第 7 回	全身性結合組織傷害				
第 8 回	変形性脊柱傷害				
第 9 回	軟部組織傷害				
第 10 回	骨傷害および軟骨障害				
第 11 回	熱傷及び腐食				
第 12 回	薬物,薬剤による中毒				
第 13 回	有害物質による中毒				
第 14 回	外科的内科的ケアによる合併症				
第 15 回	他の外因による続発・後遺症				
授業時間外学習 (Supplementary Activities)					
なし					

成績評価の方法と基準(Grading)	
評価方法	(割合) 評価基準
	( %) 期末試験を行う(持ち込み不可) ( %) 毎回の小テストと期末試験の成績の良い方を最終評価とする。 ( %)
テキスト (Textbook)	【書名】 診療情報管理 I 【著者】 基礎課程小委員会 【出版社】 日本病院会 【出版年】 2016
参考書・資料等 (Supplementary Reading)	
備考 (Other Information)	
教員との連絡方法 (Contact With Instructor)	メールアドレス:okamoto-etsuji@fukuchiyama.ac.jp 火～金は研究室にいますのでいつでも可